

軍が溝壘を築いて防戦を張ったことから、激戦の地となりました。ここでの戦いを、西軍では弁天坂の戦いと呼び、東軍では広野の戦いと呼んでいます。



## ○ 下北迫の地蔵

1784年から1788年にかけて、東北の各地を襲った大凶作と洪水により、この広野の地においても、多くの人々が飢餓や疫病により亡くなりました。下北迫の旧広野に祀られているお地蔵さまは、天明の飢饉のときに亡くなられた多くの人々の供養のためにと、林蔵寺十七世教蓮社良宣上人のお勧めで、夕筋・折木・浅見川・上北迫・下北迫など楢葉郡内十カ村の人達によって1788年に造立されたものです。この地蔵さまは、もともとは旧広野に祀られておりましたが、一時、林蔵寺にお遷しされたことがありました。しかし、林蔵寺に遷られてしばらくして、旧広野の町は大火に遭いました。町の人々は「これは、地蔵さまをお遷ししたからだ」と言って、再び元の所へお帰り頂くようお願いしました。林蔵寺にお遷ししたときにはなかなか動かなかった地蔵さまをお載せした台車も、お帰りになられるときには楽に動きまわりましたし、お地蔵さまも「にこにこ」と喜んだお顔をされておられたと言われています。

## ○ 天気に関する言い伝え

- ・ 夕方の東風は晴れ。
- ・ 西風が吹くと晴れる。
- ・ 五社山に雲が掛かると雨。
- ・ 三森山に雲が掛かると雨になる。
- ・ 汽車の音がよく（近く）聞こえると雨になる。

